

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2023年10月12日まで（2013年10月24日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビー ファンド	マネー・プール マザーファンド 受益証券
	マザー ファンド	わが国の公社債
運用方法	わが国の公社債を中心に投資し、常時適正な流動性を保持するように配慮します。	
主な組入制限	ベビー ファンド	・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は行いません。
	マザー ファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年10月14日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）         </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

国際・キャピタル  
 日本株式オープン（通貨選択型）  
 マネー・プール・ファンド区（1年決算型）



第9期（決算日：2022年10月14日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンド区（1年決算型）」は、去る10月14日に第9期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

**本資料の表記にあたって**

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

**○最近5期の運用実績**

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率					
	円		円	%	%	%	%	百万円	
5期(2018年10月15日)	9,990		0	△0.1	—	—	—	1	
6期(2019年10月15日)	9,985		0	△0.1	—	—	—	2	
7期(2020年10月14日)	9,983		0	△0.0	—	—	—	1	
8期(2021年10月14日)	9,976		0	△0.1	—	—	—	1	
9期(2022年10月14日)	9,972		0	△0.0	—	—	—	1	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

**○当期中の基準価額と市況等の推移**

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期 首)	円		%		%		%
2021年10月14日	9,976		—	—	—	—	—
10月末	9,976		0.0	—	—	—	—
11月末	9,976		0.0	—	—	—	—
12月末	9,976		0.0	—	—	—	—
2022年1月末	9,976		0.0	—	—	—	—
2月末	9,975		△0.0	—	—	—	—
3月末	9,974		△0.0	—	—	—	—
4月末	9,974		△0.0	—	—	—	—
5月末	9,974		△0.0	—	—	—	—
6月末	9,974		△0.0	—	—	—	—
7月末	9,974		△0.0	—	—	—	—
8月末	9,973		△0.0	—	—	—	—
9月末	9,972		△0.0	—	—	—	—
(期 末)							
2022年10月14日	9,972		△0.0	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第9期：2021年10月15日～2022年10月14日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第9期首	9,976円
第9期末	9,972円
既払分配金	0円
騰落率	-0.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.04%の下落となりました。

## ▶ 基準価額の変動要因

### 下落要因

運用資金に対するマイナス金利適用や信託報酬等コストなどが基準価額の下落要因となりました。

第9期：2021年10月15日～2022年10月14日

## 投資環境について

### 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.042%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンドⅩ（1年決算型）

当ファンドはマネー・プール マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、マザーファンドの組入比率を高位に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

### マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第9期 2021年10月15日～2022年10月14日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	73

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンドⅩ（1年決算型）

引き続き、マネー・プール マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドを通じて運用を行っていく方針です。

### ▶ マネー・プール マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2021年10月15日～2022年10月14日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	1	0.005	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(0)	(0.004)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(0)	(0.002)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.015	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.015)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	3	0.020	

期中の平均基準価額は、9,974円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

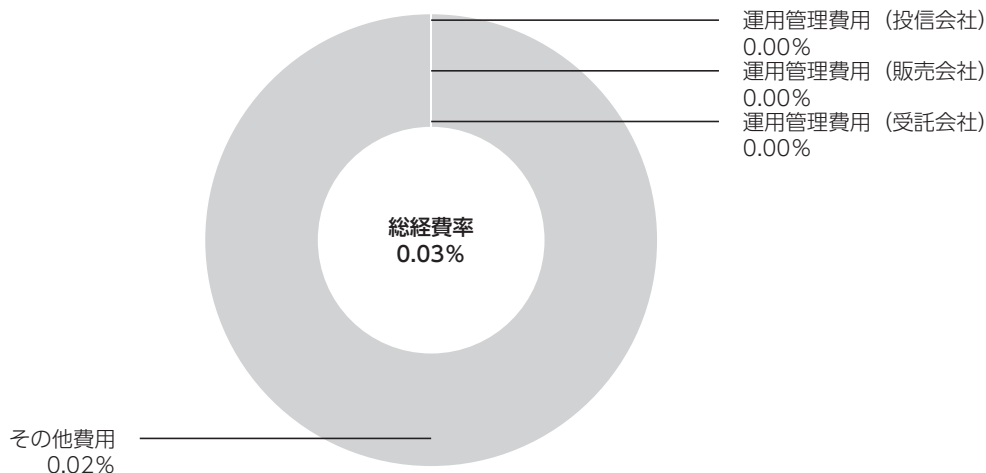
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.03%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



○売買及び取引の状況

(2021年10月15日～2022年10月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・プール マザーファンド	千口 796	千円 800	千口 702	千円 705

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月15日～2022年10月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年10月15日～2022年10月14日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

(2022年10月14日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・プール マザーファンド	千口 1,297	千口 1,392	千円 1,397

○投資信託財産の構成

(2022年10月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
マネー・プール マザーファンド	千円 1,397	% 98.0
コール・ローン等、その他	29	2.0
投資信託財産総額	1,426	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年10月14日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,426,593
コール・ローン等	28,704
マネー・プール マザーファンド(評価額)	1,397,888
未収入金	1
(B) 負債	149
未払信託報酬	27
その他未払費用	122
(C) 純資産総額(A－B)	1,426,444
元本	1,430,429
次期繰越損益金	△ 3,985
(D) 受益権総口数	1,430,429口
1万円当たり基準価額(C/D)	9,972円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,332,938円  
 期中追加設定元本額 814,813円  
 期中一部解約元本額 717,322円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9972円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,985円です。

③分配金の計算過程

項 目	2021年10月15日～ 2022年10月14日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	10,461円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	10,461円
1万円当たり収益分配対象額	73円
1万円当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

当ファンドは信託約款に基づき、2023年10月12日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

○損益の状況（2021年10月15日～2022年10月14日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 213
売買益	233
売買損	△ 446
(B) 信託報酬等	△ 326
(C) 当期繰越損益金(A+B)	△ 539
(D) 前期繰越損益金	△ 608
(E) 追加信託差損益金	△ 2,838
(配当等相当額)	( 10,465)
(売買損益相当額)	(△13,303)
(F) 計(C+D+E)	△ 3,985
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 3,985
追加信託差損益金	△ 2,838
(配当等相当額)	( 10,461)
(売買損益相当額)	(△13,299)
繰越損益金	△ 1,147

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

# マネー・プール マザーファンド

## 《第26期》決算日2022年7月14日

[計算期間：2022年1月15日～2022年7月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第26期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第26期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比	券率	債先物比	券率	純総	資産額
		騰落	中率						
	円		%		%		%		百万円
22期(2020年7月14日)	10,041		0.0		—		—		117
23期(2021年1月14日)	10,041		0.0		—		—		230
24期(2021年7月14日)	10,040		△0.0		—		—		141
25期(2022年1月14日)	10,040		0.0		—		—		52
26期(2022年7月14日)	10,039		△0.0		—		—		48

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債組入比	券率	債先物比	券率
		騰落	率				
(期首)	円		%		%		%
2022年1月14日	10,040		—		—		—
1月末	10,040		0.0		—		—
2月末	10,039		△0.0		—		—
3月末	10,039		△0.0		—		—
4月末	10,039		△0.0		—		—
5月末	10,039		△0.0		—		—
6月末	10,039		△0.0		—		—
(期末)							
2022年7月14日	10,039		△0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

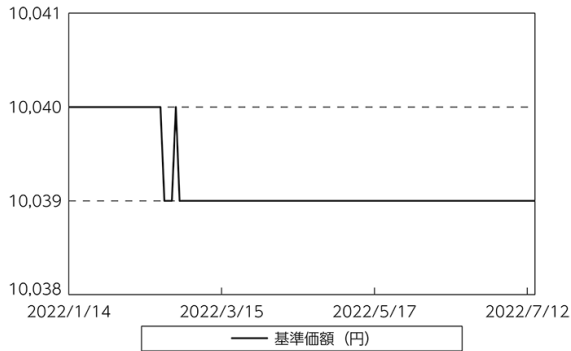
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.007%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## ○今後の運用方針

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年1月15日～2022年7月14日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2022年1月15日～2022年7月14日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年1月15日～2022年7月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。
---

## ○組入資産の明細

(2022年7月14日現在)

2022年7月14日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2022年7月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 48,494	% 100.0
投資信託財産総額	48,494	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月14日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	48,494,750
コール・ローン等	48,494,750
(B) 負債	21
未払解約金	14
未払利息	7
(C) 純資産総額(A-B)	48,494,729
元本	48,306,871
次期繰越損益金	187,858
(D) 受益権総口数	48,306,871口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,039円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 52,766,508円  
 期中追加設定元本額 9,853,751円  
 期中一部解約元本額 14,313,388円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0039円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	33,212,210円
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	5,154,901円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドX(年2回決算型)	2,251,683円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX(1年決算型)	1,392,666円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	220,146円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	125,062円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,592円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 分配型	99,561円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961円

## ○損益の状況 (2022年1月15日~2022年7月14日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 3,975
受取利息	38
支払利息	△ 4,013
(B) 当期損益金(A)	△ 3,975
(C) 前期繰越損益金	209,346
(D) 追加信託差損益金	38,399
(E) 解約差損益金	△ 55,912
(F) 計(B+C+D+E)	187,858
次期繰越損益金(F)	187,858

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ユーロコース (1年決算型)	9,959円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ユーロコース (毎月決算型)	9,959円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし)	毎月決算型		9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり)	毎月決算型		9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし)	年2回決算型		9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり)	年2回決算型		9,952円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)			4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)			4,979円
合計			48,306,871円